

生物多様性保全実習実施報告



2012 年 9 月 12 日（水）～14 日（金）に、裏磐梯地域において、生物多様性保全実習を実施しました。教員 2 名、院生および学生 7 名の計 9 名で、湿生植物群落や水生植物群落の植生調査、外来種の分布調査や駆除を行いました。

実習の前半は、秋元湖において湿生植物群落の簡易測量と植生調査、フローターやボートを用いての水生植物群落調査を行いました。国内の多くの地域で消滅しつつあるものの、裏磐梯地域のいくつかの湖沼では比較的良い状態を保っている沈水植物群落を観察・調査できました。また裏磐梯以外の地域では極めて稀にしか見ることのできない絶滅危惧植物を観察できました。

実習の後半は、五色沼遊歩道において特定外来種のオオハンゴンソウの分布状況調査や駆除を行ったほか、柳沼において外来水生植物のコカナダモの分布状況調査や駆除を行いました。オオハンゴンソウは、実習のほぼ 1 か月前に、環境省が主催した駆除作業が行われていましたが、1 か月前に地上部を切断された個体の根茎から、新たな葉が伸びている様子が確認できました。外来種の効果的な駆除のためには、対象となる生物の生態に応じた手法が求められることが強く感じられました。（報告 兼子）